

〈教育目標〉健康で知性が高く自主的で実践力のある生徒



西川中学校通信

HP アドレス：<http://www.nishichu.city-niigata.ed.jp>

西川中生徒数

中1 76人

中2 69人

中3 62人

207人

発行 R8.7.21 4号

959-0422 新潟市

西蒲区曾根1828番地3

TEL 0256-88-3148

異学年・異年齢・異文化との交流から学ぶ ～対話と自己調整～

校長 大平 淳一

「東京の大学生も、新潟の大学生も進路を決めたきっかけは、自分の好きなことのため、選択できる道を増やすためという意見が多かった」

「できることを自分で探して、自分に合うものを見つけられるようにしたい」

「大学では時間の使い方が自由だが、自己管理をしないといけないのが大変だとわかった」

「東京の方が便利そうだから東京がよいというのではなく、新潟と東京、どちらで輝けるかを考えた方が良かったことがわかった」

「選んだところで、社会に貢献したいと思っていてすごいと思った」

7月1日、3年生の総合的な学習の時間で、新潟大学の学生との交流会を当校で実施しました。これに先がけて、5月中旬、首都東京での修学旅行3日目、大学生との交流会を行いました。上記は、2つの交流会を受けての生徒の振り返りの一部です。自身のこれからの生き方を真剣に考えていることがうかがえます。

当校では、重点目標「にこやか・しなやか・かかわりあう・わかりあう」を大切にしながら教育活動をすすめています。特に今年度は、自分に対する自信を高め、将来への夢や希望をもち、幸せな世の中を創造する「志」を醸成することを目指しています。そのために、昨年度に引き続き、異学年・異年齢・異文化との交流（かかわりあう）に、一層力を入れています。

交流（かかわりあう）で重視していることは、**対話**です。当校の学校教育ビジョンでは、「表現し伝え合う、質問し合う」、「互いの考えを比較、対比、分類、分析する」を挙げています。**対話**では、自身の意見を単に表明するだけではなく、意識して相手の話を聴き、伝え合い、相手の立場や意見を尊重することが重要です。生徒会や学校行事、総合的な学習の時間の発表・意見交換など、**対話**を中心にした活動を多く取り入れています。

そして、**対話**を通して学んだことを、自分自身が主体的に学ぶことの原動力にしています。大学生との交流会でも話題となった、自分に合った学び方を**自己調整**することなどが一例です。ビジョンでは、「しなやか」の内容で「振り返る、新たな課題を確認する」、「あきらめずに何度でも挑戦する」を挙げています。各教科の授業では1時間や学習のまとまりで、西中タイムで立てた家庭学習計画は翌日の朝読書前に、振り返りを行っています。振り返りを基に、どのような学びを深めていくのか、学び方のどこを修正するのかを考え、できていないところは繰り返しやってみることを促しています。生徒自身が現状に満足せず、主体的な学習を進めようという**自己調整**の能力を高めていきたいと考えています。

秋には、家庭科での保育園への訪問（異年齢との**かかわり**）、フランス・ナント市、中国（韓国）との交流（異文化との**かかわり**）なども予定しています。これからも当校の教育活動に対して、益々のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

3年生 未来を切り拓く学び（大学生との交流会）

新潟大学の学生の皆さんをお迎えし、交流活動を行いました。修学旅行では東京の大学生と交流しましたが、今回は地元で学ぶ身近な先輩との対話を通して、自分らしい生き方やライフプランについて考えました。進路選択や大学生活、挑戦や失敗など実体験に基づく話に、生徒は熱心に耳を傾け、積極的に質問する姿が見られました。自分の将来をより身近に捉え、進路について主体的に考える貴重な機会となりました。



2年生 職場訪問発表会・縦割り班での交流会

職場訪問の発表する報告会を行い、1年生と小学生を招きました。大勢を前に緊張しながらも、一人一人が堂々とした態度で、聞き手に伝わるようプレゼン資料を工夫し、分かりやすい発表を心掛けていました。交流活動では、アイスブレイクを進行しながら、後輩に積極的に声をかけ、場が和むよう努める姿が見られました。思うようにいかない場面もありましたが、相手を思いやりながら最後まで関わろうとする姿に、2年生の成長と頼もしさを感じた発表会となりました。



1年生 自分の好きなこと・もののプレゼン『聞き上手は話し上手』

「自分の好きなこと・もの」をテーマにプレゼンテーション発表会を行いました。生徒は、聞き手に伝わりやすいよう画像やイラストを工夫して取り入れたり、話す順序や言葉を考えたりしながら発表しました。聞き手も発表者の思いを受け止めようと、うなずきながら真剣に耳を傾けていました。互いを大切にする温かな雰囲気の中で、伝える力と聞く力の両方が育まれた学習となりました。

